

お金の計画

令和6年度当初予算が、3月に行われた第一回定例町議会で審議され、成立しました。当初予算は、一年間の町の総収支額を見積もり、そのお金をどのように生かすのか示したものです。

今月号の特集では、今年度のお金の計画について説明します。

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります

会計名	令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	前年度からの 増減額
一般会計	136億4,300万円	152億7,700万円	▲16億3,400万円
特別会計	7億6,594万円	14億5,870万円	▲6億9,276万円
国民健康保険	5億4,019万円	4億9,526万円	4,493万円
後期高齢者医療	2億1,007万円	1億9,162万円	1,845万円
介護保険サービス	804万円	804万円	0万円
公共下水道	—	7億5,566万円	▲7億5,566万円
地方卸売市場	764万円	813万円	▲49万円
上水道事業会計	31億3,914万円	16億8,777万円	14億5,137万円
下水道事業会計	13億4,340万円	—	13億4,340万円
全会計	188億9,148万円	184億2,347万円	4億6,801万円

令和6年度当初予算は 188億9,148万円に

倶知安町の会計は、一般会計・特別会計・上水道事業会計・下水道事業会計（令和6年度より公営企業会計に移行）に区分して経理されています。

倶知安町における令和6年度予算総額は、各会計を合わせた188億9,148万円で、前年度比2.5%（4億6,801万円）の増となりました。

そのうち一般会計は、136億4,300万円で、前年度比10.7%（16億3,400万円）の減となり、特別会計は、公共下水道事業分が公営企業会計へ移行したことから7億6,594万円で前年度比47.5%（6億9,276万円）の減となっています。

また、上水道事業会計は、31億3,914万円で、下水道事業会計は、13億4,340万円となりました。

? 一般会計

税金を中心とした収入で、福祉や教育、道路など幅広い範囲の事業を行う会計。

? 上水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計。主に水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行う。

? 下水道事業会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。主に下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行う。

? 財政に関する用語解説

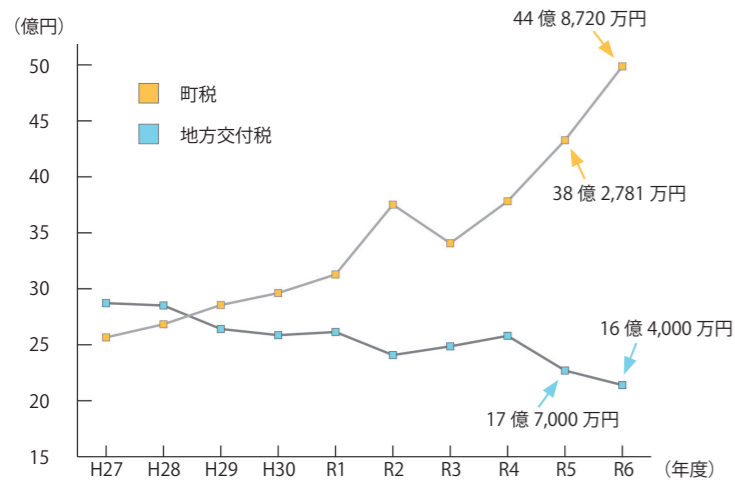
? 特別会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。倶知安町の場合、次の4つを特別会計として設けている。

- ①国民健康保険事業
主に国民健康保険加入者の医療費を給付する。
- ②後期高齢者医療事業
主に75歳以上の方の医療費を給付する。
- ③介護保険サービス事業
主に地域包括支援などの介護事業の運営管理の経理を支出する。
- ④地方卸売市場事業
主に町地方卸売市場施設の維持管理を行う。

引き続き伸びる固定資産税 町民税も増額見込み

町税・地方交付税の推移（平成 27 年度～令和 6 年度当初予算額）



町税は、前年度比 17.2% (6 億 5,939 万円) の増となりました。

今年度も固定資産税は、土地、家屋課税いずれも堅調な伸びを見せており、1 億円を超える増額を見込みます。

さらに、個人・法人町民税も給与のベースアップなどの影響により好調な状況が続くと予想されることから、増額で見込んでいます。

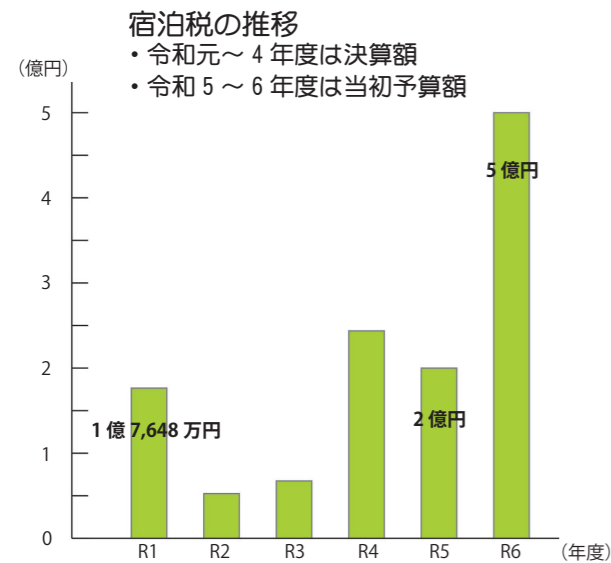
また、地方交付税は前年度比 7.3% (1 億 3,000 万円) の減額を見込んでいます。

客足戻り宿泊税が大幅増 観光振興施策の財源に

町は、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため、令和元年 11 月 1 日より法定外目的税の「宿泊税」を導入しています。

近年は、コロナの影響を受けていますが、今年度は 5 億円の収入を見込んでいます。

宿泊税は、以下の事業などに充てられ、持続可能な観光地づくりに活用されています。



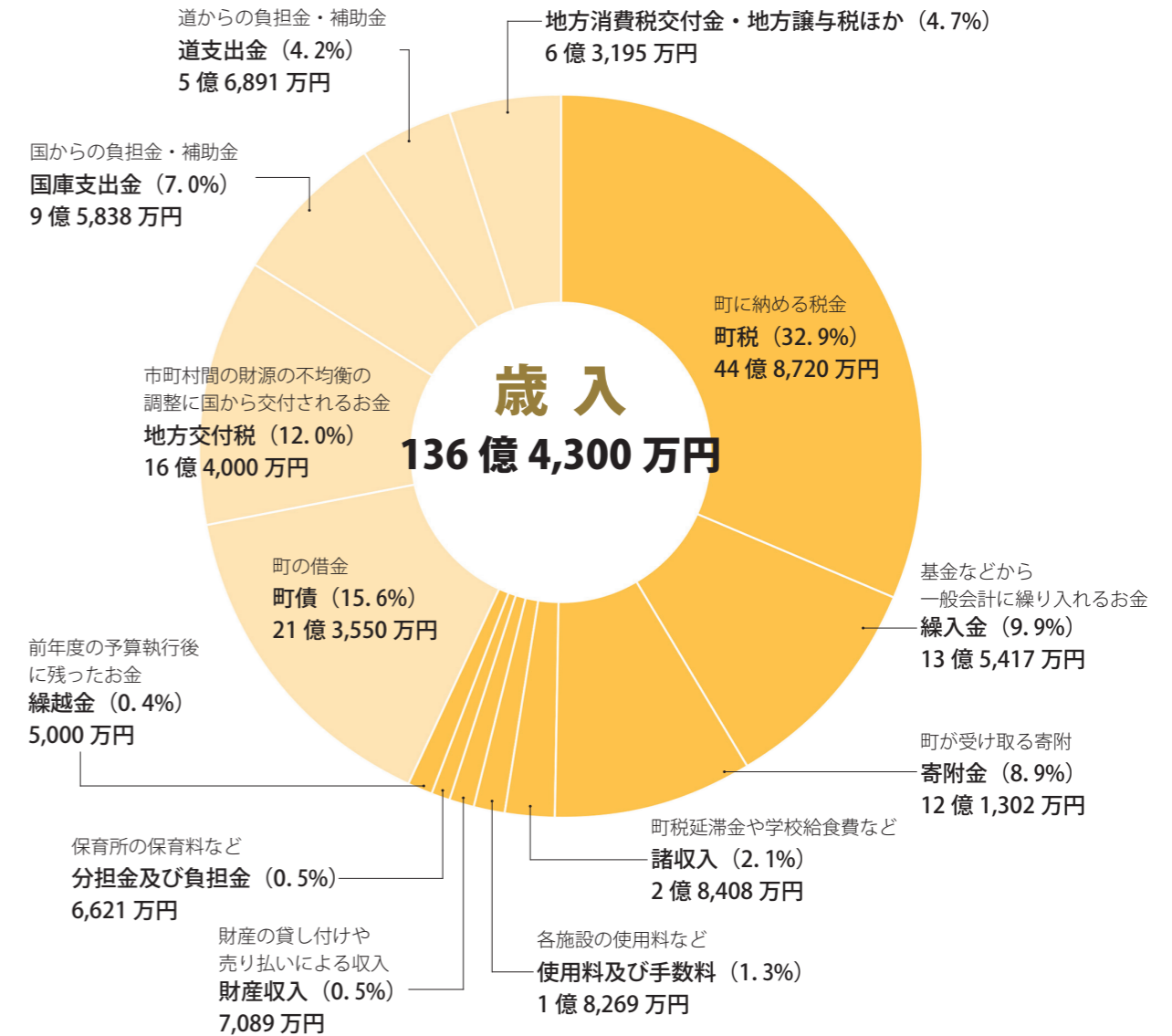
宿泊税を財源とした事業例	事業費	うち充当額
地域 DMO 支援事業 (地域 DMO：倶知安観光協会)	1 億 9,617 万円	1 億 5,980 万円
ひらふ地区ロードヒーティング事業	2,541 万円	2,541 万円
ニセコ HANAZONO リゾート 連絡交通補助金	1,524 万円	1,400 万円
町民向けタクシー確保事業	819 万円	380 万円
タクシー不足解決に向けたニセコモデル実証事業	784 万円	720 万円
路線バスキャッシュレス決済機導入事業	708 万円	650 万円
ニセコひらふエリアマネジメント交付金	577 万円	530 万円

※千円未満切り捨て

自主財源 = 町が自主的に徴収する財源
依存財源 = 国や道から交付される財源

一般会計の 歳入

※ () 内の数字は構成比



比 前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加 町税 前年度比 + 6 億 5,939 万円
町民税および固定資産税が伸び、コロナが明け、宿泊税も大きく増額。

増加 寄附金 前年度比 + 4 億 100 万円
ふるさと応援寄附金が前年度から 4 億円の増額。

増加 町債 前年度比 + 5 億 3,010 万円
歩道除雪用の小型ロータリー購入や道路改良事業、倶知安厚生病院第 2 期整備費負担事業などの借入のため増額。

減少 財産収入 前年度比 - 36 億 1,077 万円
前年度に、ニセコひらふ地区における町有地の売り払いを完了したことから減額。

※ () 内の数字は構成比

令和6年度 **主な事業**

町民向けタクシー確保事業 (819万円)

冬期間に長距離輸送の需要が増加することで、町内を運行するタクシーが不足するため、町内限定で運行するタクシーを確保する。

倶知安町創業支援事業補助金 (1,000万円)

商工業の発展や人材育成、まちの活力・にぎわい創出のため、創業・事業承継に係る費用を助成する補助制度を新たに設ける。

スキーの町スノーリゾート利用事業 (1,690万円)

これまでに引き続き、町内小中学生へのリフトシーズン券の配布を行う。

町営プール絵本館複合拠点施設整備事業(1億9,675万円)

町営プールと絵本館の複合拠点施設の整備に係る設計業務や、建設地となる既存施設の建物の解体などを行う。

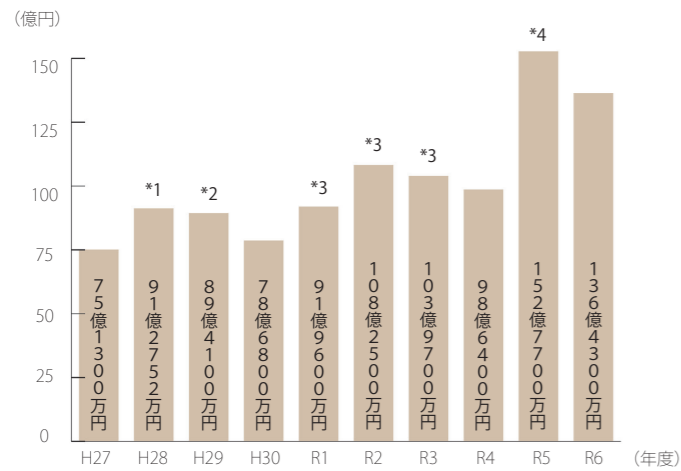
倶知安駅都市施設整備事業 (2,013万円)

北海道新幹線倶知安駅と一体で整備する都市施設および駅周辺エリアの設計業務・再生エネルギーの活用を検討などを行う。

倶知安駅周辺エリア整備事業 (1,935万円)

予算額は前年度に比べ減額も 130 億円超の大型予算に

一般会計予算の推移 (平成27年度～令和6年度)



今年度は、上に記載する主な事業のほか、保健福祉会館や児童館、放課後児童クラブなどへのエアコン設置工事や姉妹都市提携60周年記念事業、電子申請システム導入事業、先進不妊治療費等助成事業などを実施します。

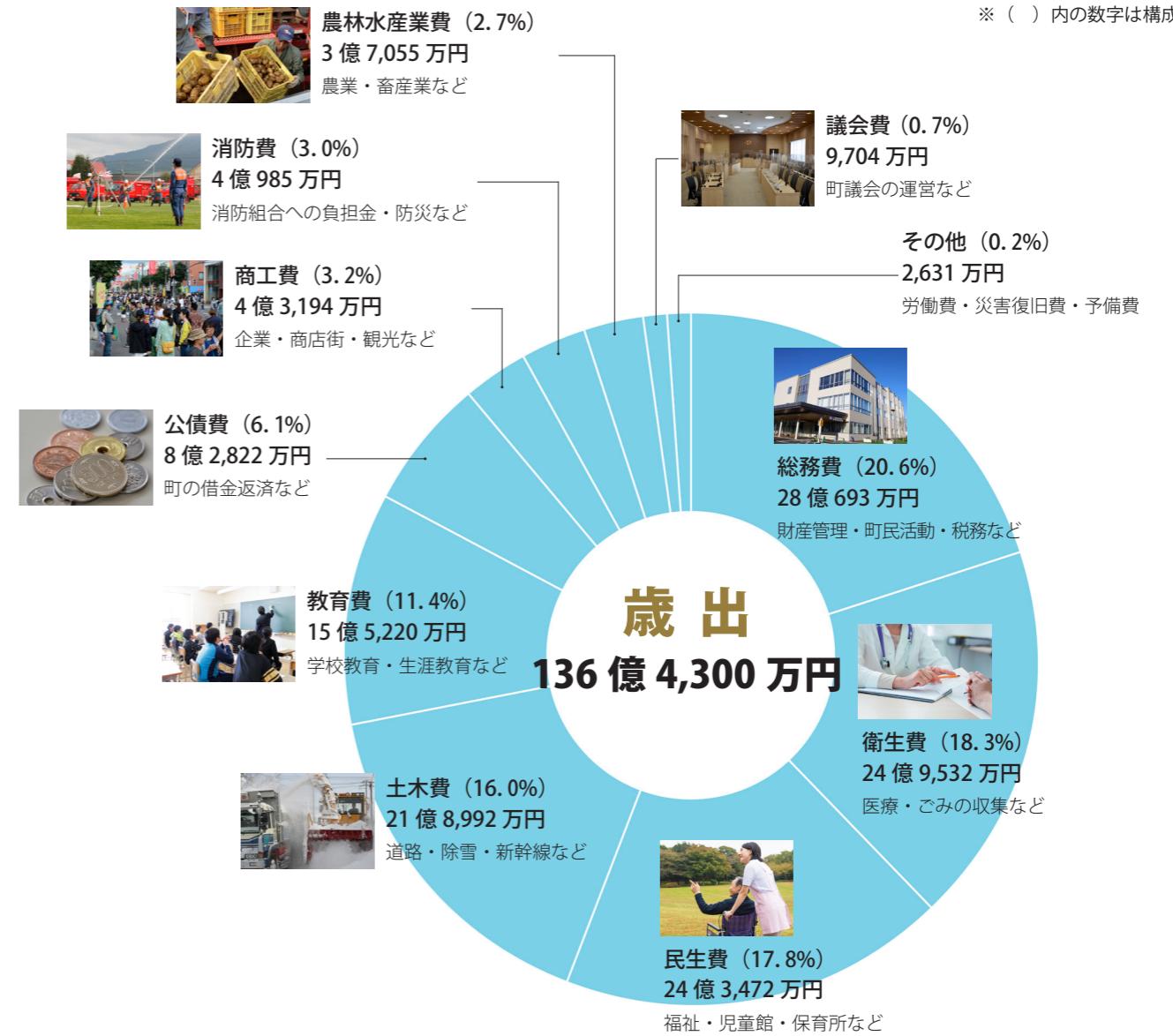
一般会計予算額は、前年度比10.7% (16億3,400万円)減の136億4,300万円となりますが、昨年度は約35億円の土地売却収入があり、それを差し引くと、約19億円の増額となっています。

- *1 地産地消食育推進施設 (学校給食センター) の建設
- *2 くっちゃん保育所めくめくの建設
- *3 役場庁舎の建設
- *4 ニセコひらふ地区の町有地売却に伴う基金積み立て

5月1日
発行

令和6年度 予算説明書
アクティブくっちゃん
圏総合政策課広報係
☎ 56 - 8001

5月1日発行 (広報折り込み) 予定の予算説明書「アクティブくっちゃん」では、これらの事業をより詳しく紹介するほか、それ以外の事業についても紹介します。



比 前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加

土木費 前年度比 + 3億6,518万円
老朽化した南6条団地の建て替え工事や駅周辺の土地の使い方を見直す計画などを実施するため増額。

増加

教育費 前年度比 + 3億1,321万円
旭ヶ丘スキー場ジャンプ台の撤去やプール・絵本館複合拠点施設の設備などを行うため増額。

減少

総務費 前年度比 - 27億8,625万円
電子申請システムの導入や路線バスのキャッシュレス決済機の導入支援などを行います。前年度は、約35億円の町有地売却収入を基金へ積み立てることとしていたため大幅な減額。